

つねになめらかなコーナリング。プラネタリーギアードセンターデフ採用。

ファミリアのフルタイム4WDはセンターデフを採用(センターデフロック付)。4WDの弱点とされたタイヤコーナーでのブレーキング現象を解消し、車庫入れや駐車などの操作も実にスムーズ。前後輪へのパワー伝達がギアを介してダイレクトに(メカニカル)に行なわれますから、パワー伝達ロスが小さく、走行フィーリングも、よりスポーティ。前後のトルク配分がつねに一定(50:50)ですから、サスペンション・チューニングもそれに合わせてベストに設定でき、クルマ全体のバランスをくずしません。しかもセンターデフは、量産車初のプラネタリーギアを用いた、軽量コンパクトな設計ですから室内スペースも犠牲にしていません。

ネット^{*}140馬力の1600DOHCターボなど、3つのエンジン・バリエーション。

ファミリアのフルタイム4WDなら、エンジン・バリエーションも豊富です。4WDのメリットを最大限に生かしてハイパワー走行を味わうには、シリーズ最強の1600DOHCターボ・インターフーラー付(GT-X)を。また快適な4WDライフをゆったり楽しむには、NEW1600EGI(XGi)がぴったり。さらにNEW1500+フルタイム4WDでキビキビ走れるXRも、リーズナブルなチョイスです。

ボテンザ60タイヤなど足もガッチャリ。ブレーキは前輪ベンチレーテッド4輪ディスク。

GT-XとGT-Aは、走りを重視してボテンザ185/60R14 82Hスチールラジアルタイヤを標準装備。さらにGT-XにはラリーP600とホワイトアルミホイールをセットでオプション設定しています。XGiは175/70SR13スチールラジアル、XRは155SR13スチールラジアルを採用。

走りのタイプに合わせてセレクトしています。またブレ

キは全車、前輪ベンチレーテッドの4輪ディスクブレーキを装着。4輪での駆動かそなえていましまじめにパワーに合わせて、DOHCターボエンジン搭載車には大径14インチディスク他は13インチディスクを採用。信頼性の大前提となるブレーキを充実させ、あらゆる走行に万全を期しています。



写真は撮影用に分解しております。

FULL TIME 4WD



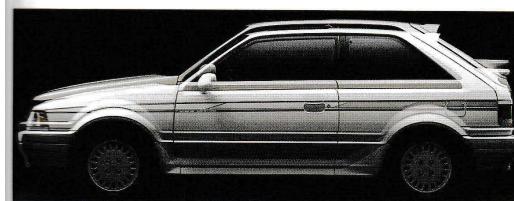
前後にトルクを分配しながら前後輪の回転差を吸収するセンターデフ。プラネタリーギアを用いたコンパクトな設計で、軽量化と省スペースを実現。

ハイコントロール・サスペンションの採用で、低い重心位置を実現。

フルタイム4WDのサスペンションで注目すべきメカニズムは、GT-Xの“ハイコントロール・サスペンション”です。道路条件に応じて車高をLOW-HIGH2段階に切りかえられるシステム。ダンパー上部に車高調整用の空気室を設け、この空気圧を変化させて車高を切り替えます。ベースのLOWの位置では、最低地上高はわずか130mm。高速走行ではその低い重心が威力を發揮し、操縦安定性を高めます。そして悪路では、車高を30mm高めてクリアランスを確保。ひどい凹凸路も楽に走破できます。

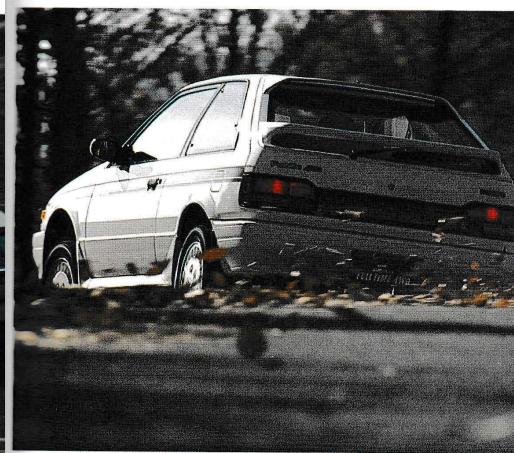
さらにオートレベリング機構までも採用。

GT-Xのハイコントロール・サスペンションでもうひとつ画期的なのは、オートレベリング機構です。乗る人や荷物など、負荷重量が変化しても、それに応じて自動的に車高を微調整。LOW、HIGHそれぞれの選択レベルを正確にキープします。負荷重量の影響をうけず、重心高がつねに一定ですから、操縦安定性もつねにハイレベル。サスペンションのセッティングも、正確なLOWの位置にあわせてベストに設定できます。またイグニッションスイッチをオフにしてもしばらくは自動的に指定位置に調整します。



電動式センターデフロック機構のスイッチ。雪道や悪路などで1輪が空転した場合でも、センターデフをロックすれば、前後どちらかの駆動力をキープ。

HEIGHT CONTROL SUSPENSION
HIGH ↑ LOW ↓ HEIGHT SW
スイッチ操作で車高が30mmアップできる。ハイコントロール・サスペンション。しかもオートレベリング機構付。(GT-X)



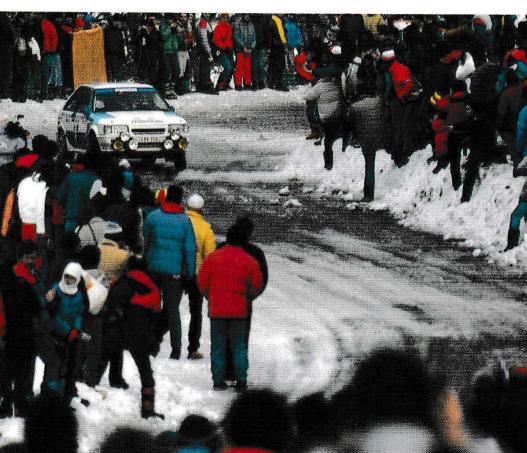
G ビスカスLSD+センターDEフを採用。 ラリー専用車、GT-A登場。

ラリー走行を前提に、特別に開発されたスペシャリスト。それがファミリア・フルタイム4WDの“GT-A”です。1600DOHCターボを搭載。リアデフにビスカスLSD(リミテッド・スリップ・デフ)を装着。センターデフとの組み合わせで限界性能を高め、さらにストラットタワーバー、強化クラッチなどを標準装備。カーゴルームには専用ラゲッジボルトを設定し、標準タイヤを固定。またアスパイラーなどはとりはずし、軽量化をはかっています。

T



A 世界ラリー選手権〈RACラリー〉で優勝。／グループA優勝・総合1位、1986年11月
世界中で年間数百戦以上も行なわれるラリーの中から、わずか3戦の選ばれたWR C(世界ラリー選手権)イベント。RACラリーは、そのWRCの1つ、英国で開催されます。出場台数150台以上。走行距離2366km。200~300万人もの観客を集めます。



*「クロス」とはエンジン単体で測定したもので、「ネット」とはエンジンを車両搭載した状態で測定したもので。